

## 白扇酒造通信 製造メンバーを紹介!

みなさんこんにちは

今回の花美蔵通信は前回の続きとなる『製造メンバー』紹介第2弾と「新酒一号」のご案内をさせていただきます。今年の夏も暑くつい最近まで残暑が続いておりましたが、朝晩の涼しさや日中との寒暖差を感じる季節になり、紅葉シーズンもすぐそこまで来ていると感じられるようになりました。今年からは平成から年号が変わり「令和」最初の「新酒一号」が出来ました。令和最初の新酒一号を是非たくさんの方の皆様にお楽しみ頂ければ幸いです。

### 製造メンバー



山田孝司

趣味:盆踊り・原チャリ



辻毅史

趣味:ギター



東雅大

趣味:つり・バーベキュー



福井勢弥

趣味:格闘技・MMAファイター  
4戦4勝



服部龍二

趣味:酒造り・料理



日頃よりお世話になっております、私は白扇酒造製造部の山田孝司と申します。

どうぞ皆様、よろしくお願ひいたします。

暑い夏も過ぎ、秋の虫の音が耳に心地よい秋の夜長に、ゆくりと日本酒を味わう。

そんな日本酒が、恋しい季節になってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

むむむにもいい季節ですが、酒造りに最適な季節でもございます。

今年最初の白扇のお酒「新酒一号」を、ぜひとも今夜のお供にして

いただければ幸いです。

### 山田孝司 ~Profile~

夏は盆踊り、冬は蔵稼ぎと、一年中充実した毎日を過ごしております、昭和49年生まれの45歳でございます。

高校では微生物や醸造食品の勉強をしており、その関係もあってか就職活動時に担当の先生より「川辺の白扇はどうだ?」とお勧めされました。当時から酒造りに興味がありましたので「ぜひ行ってみたい」と入社を希望し、これがきっかけとなり20数年こちらでお世話になっております。

入社当時、冬の半年間は出稼ぎで住み込みの杜氏さんたちと宿舎にて寝起きを共にしておりました。朝は暗いうちから起きて仕込み、深夜に起きては麹蓋の積み替え作業。そして一仕事終了後は、杜氏さんたちからこれまで酒造りをしてきた様々な蔵の昔話を聞く…。そんな中で酒造りの厳しさを学ばせていただきました。

時代は変わり、今では若い服部杜氏の下で主に製麹や作業の下準備などを行っています。「日本一の酒を醸す」という今まで以上の目標へのチャレンジに、微力ながら力になれるよう日々頑張っております。

高校卒業後、酒造りのほかにもう一つ足を踏み入れましたのが、盆踊りでございます。車の免許をとってからは、カーステレオのカセットテープから流れる『かわさき』、『春駒』、それに『ライン音頭』や『美濃加茂踊り』などを年中歌っております。夏になれば仕事終わりに早々と浴衣に着替え、そのまま踊り仲間の待つ会場へ。盆踊りは自分にとって、まさに青春。結婚した今では家族みんなで盆踊り会場へ足を運び、仲間と美味しいお酒を飲みながら無心に手足を動かします。その場のみんなが一つになる。そんな盆踊りに出会えた私は、本当に幸せ者です。これからも山田は、酒造りに踊りに力いっぱい取り組んでまいりますので、来年はぜひ皆様もお酒と盆踊りで夏を楽しみましょう!

### この時期のオススメ「新酒一号」のご紹介

さて、今年最初の造りとなるお酒は、その名も『黒松白扇 新酒一号』。今年採れた酒米(山田錦)を丹念に磨いて、杜氏はじめ蔵人皆で「美味しいお酒になれば」と願ひながら醸したお酒です。皆様には楽しい仲間と大好きな家族と、そして大事な自分へのご褒美にと、色々な場で美味しくお呑みいただけたら、蔵人として一番の喜びでございます。

また杜氏が変わって3年目のこのタイミングで、かつて使用していた「黒松白扇」の商標が戻ってまいりました。屋号「白扇酒造」からもイメージしやすい名称となり、より皆様に親しんでいただけることを願っております。新たなスタートにどうぞご期待ください。

